

Ⅱ 重点的な取組

1 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 安全、安心の確保

- | | |
|---|---------------------|
| ⑧ ア 県立学校における保健衛生用品の購入等 | [3年度2月補正 4億6,125万円] |
| イ 入学者選抜における感染症対策 | 1,638万円 |
| 県立高校等の入学者選抜の実施に当たり、1検査室の受検生の人数を減らすための追加の会場に対応するため、受検会場への運営補助員の配置等 | |
| ウ 特別支援学校スクールバスにおける感染症対策 | 5,985万円 |
| 県立特別支援学校スクールバスの乗車人数の少人数化のため、マイクロバスの運行等 | |
| ⑧ エ 教育相談体制の充実(再掲) | 5億4,406万円 |
| オ 社会教育施設等における感染症対策 | 216万円 |
| 社会教育施設等における保健衛生用品の購入 | |

(2) 学びの保障

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| ⑧ ア 35人以下学級の小学校3年生への拡大(再掲) | (人件費対応) |
| ⑧ イ スクール・サポート・スタッフの全校配置(再掲) | 4億5,736万円(人件費対応) |
| ウ オンライン学習のための通信環境整備 | 9,215万円 |
| 県立学校での臨時休業等の場合における無線ルーターの貸出し及び通信料 | |

2 学校における「子どもたちへの生活困窮支援」

(1) 「食」の面から子どもをサポート

- | | |
|---|---------|
| ⑧ ア 県立高校での朝食の提供 | 1,732万円 |
| NPO法人等による居場所カフェの取組を実施している4校(全日制3校、昼間定時制1校)で、在校生の希望者へ朝食を提供 | |
| ⑧ イ 県立高校での夕食の提供 | 1,557万円 |
| 夜間定時制14校の生徒に対して提供している夕食について、生徒の費用負担軽減 | |

(2) 生理の貧困への対応 398万円

県立学校に在籍する生徒が、生理用品の確保に不安を感じることなく、より安心して学校生活を送れるよう、すべての県立学校で女子トイレに生理用品を配備

3 特別支援教育の充実

- | | |
|--|---------|
| ⑧ (1) 県立特別支援学校の新校等整備 | 1,850万円 |
| 特別支援学校での教育を必要とする児童・生徒の増加や、国の特別支援学校設置基準制定に伴う受入れ枠不足に対応するため、新校等の整備に向けて測量調査等を実施(川崎市、藤沢市) | |

(2) 医療的ケア児支援のための環境整備

- | | |
|---|----------|
| ⑧ ア 県立特別支援学校の看護師の適正配置 | 1億 675万円 |
| 医療的ケアの必要な児童・生徒を支援し、より安全に学べる環境を整備するため、看護師を県立特別支援学校に配置(3年度:57人⇒4年度:69人) | |

<p>⑨ イ 医療的ケア児の通学支援 保護者の負担を軽減するため、医療的ケアの必要性が高くスクールバスに乗車できない児童・生徒の通学について、福祉車両等と訪問看護ステーション等の看護師を活用した支援を試行(4年度:10人)</p>	2,080万円
<p>(3) 高等部知的障害教育部門の生徒への通学支援 県立特別支援学校の高等部知的障害教育部門の生徒のうち、公共交通機関での通学が難しい生徒に対し、学びの保障の観点からスクールバスの利用を拡大(マイクロバスを配車(登校便9校10台))併せて通学支援のための支援員を配置(12校25人)</p>	9,937万円(一部人件費対応)

4 共生社会の実現に向けた教育の推進

<p>(1) インクルーシブ教育の推進</p> <p>ア インクルーシブ教育校内支援体制整備事業 市町村立小学校(政令市を除く)に教育相談コーディネーターの後補充として非常勤講師を配置(30校)し、その成果を他校へ普及</p> <p>イ 県立高校施設整備費(インクルーシブ教育実践推進校) インクルーシブ教育実践推進校に指定した県立高校(14校)において、インクルーシブ教育を実践するために必要な環境を整備</p>	9,354万円(人件費対応) 2,402万円
<p>(2) 教育相談体制の充実</p> <p>⑩ ア スクールカウンセラーの配置の拡充(再掲)</p> <p>⑩ イ スクールソーシャルワーカーの配置の拡充(再掲)</p> <p>ウ SNSいじめ相談@かながわ事業費(再掲)</p>	4億1,976万円 1億1,382万円 1,653万円
<p>(3) 特別支援学校における教育環境の充実</p> <p>⑩ ア 県立特別支援学校の看護師の適正配置(再掲)</p> <p>⑨ イ 医療的ケア児の通学支援(再掲)</p> <p>ウ 高等部知的障害教育部門の生徒への通学支援(再掲)</p>	1億 675万円 2,080万円 9,937万円(一部人件費対応)
<p>⑩ (4) 「いのちの授業」の取組 「いのちの授業」大賞10周年記念作文集の作成等を行い、子どもたちの他者への思いやりや自分を大切に作る心等を育む「いのちの授業」をより一層推進 「いのちの授業」を通して、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念の普及やいじめ防止等に取り組むとともに、県PTA協議会との協働等により、家庭・地域への啓発を充実</p>	298万円
<p>(5) 県立学校におけるバリアフリー化の推進 「新まなびや計画」において、県立学校のみんなのトイレの整備やエレベーターの設置など環境整備に取り組むとともに、障がいのある児童・生徒や教職員の状況を踏まえた対応を実施</p>	4億 882万円
<p>(6) 中学校夜間学級の運営支援 神奈川総合産業高等学校の施設を活用し、令和4年4月に相模原市が開設する、中学校夜間学級について、同市以外(横浜市、川崎市域を除く)の生徒を受け入れるため、教員を派遣するなど、開設後の運営を支援</p>	(人件費対応)

5 教科担任制の導入と35人以下学級の計画的な整備

<p>⑨ (1) 教科担任制の導入 教育の質の向上を図るとともに、教員の働き方改革を進めるため、市町村立小学校(政令市を除く)高学年において専門性の高い教科指導を行う教科担任制を導入(21人)</p>	(人件費対応)
--	---------

⑧ (2) 35人以下学級の小学校3年生への拡大 (人件費対応) 子どもたち一人ひとりの最適な学びを実現するため、市町村立小学校(政令市を除く)3年生において35人以下学級を実施(101人)	
---	--

6 これからの社会に対応した人材育成

(1) 1人1台端末の導入に伴うICT環境の整備

ア 高等学校用パソコン借上整備費 県立高校等における端末等の活用	14億2,952万円
⑧ イ 生徒用無線LAN等整備事業費 端末の多様な活用に対応できるよう、県立高校等に無線LANのアクセスポイントを増設	1億4,439万円
⑨ ウ 指導者用情報機器整備事業費 県立高校等の指導者用端末の整備	[3年度2月補正 1億9,296万円]
⑨ エ GIGAスクール運営支援センターの設置(再掲)	[3年度2月補正 2億 709万円]

(2) グローバル人材の育成

ア 小学校外国語教育(英語)における指導体制の充実 市町村立小学校(政令市を除く)に、質の高い英語教育を行うための専科教員を継続配置(68人)	(人件費対応)
イ 外国人による語学指導推進事業費 全県立高校等において、外国語指導助手(ALT)と教員とのチーム・ティーチング等により、授業をさらに充実させ、生徒の英語によるコミュニケーション能力等を強化	3億5,659万円

7 県立高校改革の推進

(1) 質の高い教育の充実

ア 生徒の英語力向上の推進(一部再掲) 全県立高校等にネイティブスピーカーの外国語指導助手(ALT)を派遣するとともに、生徒の英語力向上をめざし、英語資格・検定試験の受験を促進するための支援を実施	3億8,927万円
イ グローバル化に対応した先進的な教育の推進(一部再掲) 日本語学習支援が必要な生徒のため、日本語学習用コンテンツを提供することで学習支援を実施するとともに、地域人材を活用した日本語指導等を実施	2,058万円
ウ インクルーシブ教育の推進(一部再掲)	3,244万円

(2) 学校経営力の向上

ア コミュニティ・スクールの実施 全県立高校等において、コミュニティ・スクールを実施(140校)	336万円
⑧ イ 県立高校等の教育環境整備(一部再掲) 指導者用端末等ICTに係る環境整備を推進	18億4,229万円[+3年度2月補正 1億9,296万円]

⑧ (3) 再編・統合等の取組み 神奈川総合高等学校の舞台芸術科設置に伴う多目的ホール改修工事や、厚木東高等学校・厚木商業高等学校の再編・統合に伴う商業教育棟の新築工事等を実施	15億4,567万円
--	------------

8 県立学校施設再整備計画(新まなびや計画)の推進等

⑧ (1) 耐震対策等(補強が必要な校舎棟等の耐震対策及び老朽化対策)	245億5,243万円
⑧ (2) 現代の生活様式等を踏まえた県立学校のトイレ環境の改善	30億9,927万円
⑧ (3) 県立学校の特別教室等における空調の整備	11億9,418万円
⑧ (4) 県立高校改革を推進するための施設整備(再掲)	12億6,052万円
⑧ (5) 生徒の安全・安心に係る緊急的な取組 熱中症対策として、県立高校等(56校)の普通教室等の空調機を更新するとともに、県立学校(24校)の屋上防水工事等を集中的に実施	34億1,100万円
(6) 県立学校におけるバリアフリー化の推進(再掲)	4億 882万円 (各所営繕で措置する1,500万円を含む)

9 教員の働き方改革の推進

(1) 県立学校の取組

ア 業務アシスタントの全校配置 「業務アシスタント」を県立学校に継続配置(169人)	5億3,926万円(人件費対応)
イ 専門人材、地域人材の積極的な活用	
(ア) 県立高校への部活動指導員の配置(17校)	2,365万円
(イ) 退職教職員や地域人材などの多様な教育力を活用	7,672万円
⑨ ウ GIGAスクール運営支援センターの設置 ICTを活用した教育活動をより円滑に展開するため、ヘルプデスク等を担う「GIGAスクール運営支援センター」を開設	[3年度2月補正 5,200万円]
エ 勤務時間管理システムの運用 教員の在校等時間等の状況を客観的に把握するために、県立学校において、勤務時間管理システムを運用	328万円

(2) 市町村立学校への支援

⑧ ア 35人以下学級の小学校3年生への拡大(再掲)	(人件費対応)
⑨ イ 教科担任制の導入(再掲)	(人件費対応)
⑧ ウ スクール・サポート・スタッフの全校配置 採点業務など教員が行う業務を補助するスクール・サポート・スタッフを市町村立小・中・特別支援学校(政令市を除く)に継続配置(505人)	4億5,736万円(人件費対応)
エ インクルーシブ教育校内支援体制整備事業(再掲)	9,354万円(人件費対応)
⑨ オ GIGAスクール運営支援センターの設置	[3年度2月補正 1億5,508万円]
⑨ カ スクールロイヤーの配置(再掲)	504万円(人件費対応)

10 障がい者雇用の推進

<p>⑧ (1) サポートオフィスの運営 障がい者に対する就労経験の機会の提供を通じた就労支援及び教育委員会における障がい者雇用を推進</p>	7億 525万円 (一部人件費対応)
(2) 県立学校におけるバリアフリー化の推進(再掲)	4億 882万円

11 教育ビジョンに掲げた課題等への対応

(1) 共生社会づくりにかかわる人づくり

ア 不登校、いじめ・暴力行為への対応の強化 6億9,626万円

⑧ (ア) スクールカウンセラーの配置の拡充 4億1,976万円

児童・生徒の心の問題に対応するため、スクールカウンセラー(臨床心理士等)を、市町村立中学校(政令市を除く)全校、県立中等教育学校2校(前期・後期課程それぞれに1人)及び県立高校拠点校(88校⇒92校)に配置

⑧ (イ) スクールソーシャルワーカーの配置の拡充 1億1,382万円

家庭環境上の課題や、外国につながるの児童・生徒の生活上の困難などに対応するため、社会福祉の専門的な知識・技術を用いて児童・生徒への支援を行うスクールソーシャルワーカー(社会福祉士等)を、市町村立小・中学校(政令市・中核市を除く)において2人増員(48人⇒50人)、県立高校拠点校(30人)に配置

⑨ (ウ) スクールロイヤーの配置 504万円(人件費対応)

いじめ等の様々な課題に法的側面から支援を行ってきた法曹有資格者に加え、市町村立学校(政令市を除く)の対応に特化した「スクールロイヤー」を新たに県教育委員会に配置

(エ) SNSを活用したいじめ相談 1,653万円

いじめ等の課題に対応するため、SNSを活用した相談を通年で実施

⑧ (オ) 「いのちの授業」の取組(再掲) 298万円

⑧ (カ) 子どもの居場所づくり 1,047万円

不登校支援に独自のノウハウを持つフリースクール等と連携し教育相談・学習支援を実施

(2) 子育て・家庭教育への支援

ア 子どもの社会的な経験の機会の充実 1億9,258万円

⑧ (ア) 放課後子ども教室推進事業費補助 1億6,020万円

放課後子ども教室を実施する市町村(26市町村)への補助(182箇所⇒185箇所)

⑧ (イ) 地域学校協働活動推進事業費(県立学校) 274万円

地域学校協働活動を推進するための取組を県立学校(3校⇒4校)で実施

⑧ (ウ) 地域学校協働活動推進事業費補助 2,631万円

地域学校協働活動を実施する市町(16市町)への補助(150箇所⇒179箇所)

(エ) 地域未来塾推進事業費補助 304万円

地域未来塾推進事業を実施する市町(3市町)への補助(13箇所)

イ 家庭教育への支援の推進 292万円

⑧ 家庭教育支援活動等の取組を行う市町(3市町⇒4市町)への補助等

ウ 高校生等への就学支援	23億4,400万円
(ア) 経済的に困難な家庭に対して高校生等奨学給付金を支給	13億4,400万円
(イ) 就学支援を必要とする高校生等に対して奨学金を貸付け	10億円
(3)文化芸術・スポーツの振興	
ア 文化遺産の保存と活用	1億9,847万円
(ア) 民俗芸能調査事業費	118万円
貴重な民俗芸能が失われないよう、現状等を記録する「記録保存」を実施	
(イ) 国県指定文化財保存修理等補助金	1億9,032万円
イ 社会教育施設の整備等	7億9,702万円
(ア) 県立図書館の再整備	7億5,285万円
新棟の新築工事費	
(新) 新館及び本館改修工事実施設計費	
(新) 県立図書館電子書籍整備費	
(イ) 歴史博物館の浸水対策調査	497万円
(新) 歴史博物館浸水対策調査費	
(ウ) 生命の星・地球博物館の設備改修	1,210万円
(新) 生命の星・地球博物館改修工事実施設計費	